

平成28年6月12日

様

立野ダムによらない自然と生活を守る会 代表 中島康
連絡先 熊本市西区島崎4丁目5-13
電話 090-2505-3880 FAX 096-354-2966

熊本地震を受けた立野ダム問題についての公開質問状

私どもは、立野ダム問題解決に向け活動しております住民団体です。

立野ダムは阿蘇外輪山の唯一の切れ目である立野火口瀬に国土交通省が計画した、高さ90m、幅200mの洪水調節専用の「穴あきダム」です。ダム下部に設けられた3つの穴（高さ5m×幅5m）から通水し、普段は水をためないとされます。

昭和44年に予備調査が始まり46年が経過し、取り付け道路などの関連工事が進んできましたが、国土交通省は平成28年度にもダム本体工事に着手するとしています。総事業費は917億円（平成24年度現在）で、熊本県の負担は275億円（県民一人あたり約1万5000円）にもなることは、ほとんど知られていません。

立野ダムは洪水調節だけを目的としたダムですが、洪水時にはダム下部に開いた幅わずか5mの穴が流木などでふさがり、洪水調節不能になるのは明らかです。流域の安全を守るどころか、危険をもたらすダム計画です。

今回の熊本地震で、立野峡谷では至るところで土砂崩壊が発生しました。崩落した阿蘇大橋の2km下流の立野ダム本体予定地周辺も両岸が大きく崩壊し、工事用道路や現場事務所、工事車両なども崩落した土砂に埋まりました。崩壊した土砂でせき止められた白川の流れの一部は、工事用の仮排水路トンネルの中を流れています。もし、今回の地震が昼間に起こっていたら、工事に従事していた多くの人命が失われていたのは明らかです。

立野ダム完成後にこの地震が起こったとしたら、ダム本体周辺の両岸の地盤が崩れていたわけであり、ダム上流は多量の土砂や流木で埋めつくされ、幅わずか5mの立野ダムの穴はふさがり、ダムは満水になったでしょう。ダム満水時に今回のような土砂崩壊が起これば、ダム津波がダム本体を乗り越え、下流の大津町、菊陽町、熊本市を襲っていたでしょう。

しかし、国土交通省の主張は、まわりがどれだけ崩れても、立野ダム本体をつくる場所は「大規模な崩落は発生していない」。すぐ近くを活断層が通っても、「立野ダム本体に向かわない」ので、ダム建設に支障はないということです。ダム本体をどれだけ丈夫に造っても、まわりの地盤が壊れたら使えなくなり、危険であることは明らかです。

これまでに行われた河川改修で白川の流下能力は大幅に向上し、河川改修を進めれば立野ダムを建設する必要がないことが、国土交通省が開示したデータによっても明らかです。また、立野ダムは阿蘇くじゅう国立公園の36ヘクタールもの広大な自然を水没させます。世界ジオパークに認定され、世界文化遺産認定を目指す阿蘇にとって、立野ダムはあってはならないものです。しかし、国土交通省は住民向けの立野ダム説明会を一度も開いたことはなく、説明責任を全く果たそうとはしません。

そこで、立野ダム問題に関し、7月に行われる参院選挙に立候補を表明された皆様方に、下記2点についてご質問致します。

記

1. 今回の熊本地震を受け、立野ダム建設計画に、あなたご自身はどのようなお考えをお持ちでしょうか。
2. 国土交通省の立野ダムに関する説明責任について、あなたご自身はどのようなお考えをお持ちでしょうか。

候補者の皆様に公平となるよう、ご回答は設問ごとに400字以内にまとめていただければ幸いです。お手数ですが、6月21日（火）必着で、FAXまたは郵送にてご回答頂ければ幸いです。頂きましたご回答は、回答の有無を含めて各報道機関へ配信し、インターネット等でも公開させていただきますので、あらかじめご了承下さい。ご協力のほど、よろしくお願い致します。

【ご回答送付先・お問い合わせ】

〒860-0073 熊本市西区島崎4丁目5-13

立野ダムによらない自然と生活を守る会 代表 中島康

電話 090-2505-3880 FAX 096-354-2966

【宛先】立野ダムによらない自然と生活を守る会 代表 中島康 行

〒860-0073 熊本市西区島崎4丁目5-13 FAX番号 096-354-2966

○公開質問状・ご回答用紙

※候補者の皆様方に公平となるよう、設問ごとに400字以内にまとめていただければ幸いです。

※本紙に準じた書式で、パソコンなどで作成されてもかまいません。

ご回答者氏名 ()

1. 今回の熊本地震を受け、立野ダム建設計画に、あなたご自身はどのようなお考えをお持ちでしょうか。

2. 国土交通省の立野ダムに関する説明責任について、あなたご自身はどのようなお考えをお持ちでしょうか。